

# 訪問看護ステーション 連絡協議会だより

## 第45号

発行年月 2023年2月  
発行所 岡山県訪問看護ステーション  
連絡協議会  
〒700-0805 岡山市北区兵団4-39  
岡山県看護研修センター3階  
TEL086-238-6688・FAX086-238-6681  
http://okayama.houmonkango.net/  
E-mail okayama@space.ocn.ne.jp  
発行責任者 江田 純子

### 令和五年新年あいさつ

一般社団法人  
岡山県訪問看護ステーション連絡協議会



会長 江田 純子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
平素より当協議会の活動に対しまして  
多大なるご支援とご協力を賜り厚く御  
礼申し上げます。

皆様には、COVID-19対策にご尽  
力されながら、在宅療養者が住み慣れた  
場で安心して暮らしを継続できるよう、  
命と生活の質を守るため思いやりのある  
訪問看護実践に務めておられることに  
対し敬意を表すと共に感謝申し上げます。

昨年は訪問看護制度発足30周年、来  
年は当会が平成25年4月に一般社団法  
人化して10周年を迎えます。令和6年度  
通常総会後には記念講演を計画してお  
ります。会員数も102から156に増  
えました。地域における災害・感染症の  
対応力強化や看護実践の質の標準化、  
ICTへの取り組みなどに一緒に取り組  
んでまいります。これからも、現場の  
声をお届けください。

### 『若林教育基金』を活用して専門性の高い看護師をめざしましょう!

専門看護師・認定看護師・特定行為研修の受講が決まった訪問看護師が応募できます。  
【選考により助成が決定します。一人20万円助成(10人のみ)】



#### 若林教育基金

若林敏子様(元岡山県看護協会会長、元岡山県訪問看護ステーション連絡協議会会長)からの寄附金を財源とし、訪問看護ステーションの看護職の質の向上を図るため、専門看護師・認定看護師・特定行為研修などの研修受講時に教育資金(1人20万円)を支給します。

### 賛助会員からの メッセージ

#### オージー技研株式会社

代表取締役 奥田 宏

「OG Wellness」、この文字をご覧になられたことはありますか。これは、弊社が開発する物理療法機器・リハビリ機器・介護用入浴機器のブランド名です。私共は、「生涯現役社会の実現」を使命と考え、リハビリ機器を“医療機器”として扱う欧州の安全基準に従った生産体制の下、医療機器メーカーとして安心・安全な製品をお届けできるよう、企画開発から製造、販売、メンテナンスまでを自社で一貫して行っております。

世界中の一人でも多くの方が、奪われてしまった元の生活を取り戻す手助けができるように、OG Wellnessは「世界一のリハビリメーカー」を目指し、これからもチャレンジを続けてまいります。

#### 株式会社eWell

### 「STOP! 廃業」

訪問看護事業所は令和3年度で732事業所が廃止休止しています。主な要因は人材不足や収支悪化で、改善策は業務効率化による生産性UPが有効ですが、実現には業務のDXとレセプトの効率化が必須です。これまでのレセプト請求システムは請求業務のみに特化しており、DXによる生産性向上どころか負担は増加し、それを気付く機会すら無いまま、慣れてしまっているケースがほとんどです。そこで訪問看護専用電子カルテiBowは6社のレセプトシステムと連携し、看護業務・レセプト業務両方を効率化します。iBowと6社連携レセプトもしくはiBowレセプトご利用の事業所は、従来のレセプトだけをお使いの事業所に比べ、廃業率が2.7倍改善されています(※当社調べ)。iBowは看護業務とレセプト業務を効率化できる唯一の電子カルテです。

# 令和4年度岡山市公衆衛生功労者表彰を受けて

## 訪問看護ステーション シエル 福田 貴通



この度表彰して頂いた事は、驚きもありましたがこれまで行ってきた活動を評価して頂いたと感謝と共に気の引き締まる思いでもあります。

またこれまで関わらせて頂きました、ご利用者様、医療機関や各関係各所の皆様のおかげでもあると思います。ありがとうございました。

在宅看護サービスを始めて10年以上経ちますが、サービスの内容も専門性だけではなく多様性も求められており、ニーズの変化も日々感じています。

今後もそのニーズの変化に対応していけるように自己研鑽に努め、地域の皆様と連携を取りつつ精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 訪問看護ステーションキャスト 田村 麗恵

この度、岡山市公衆衛生地域医療事業功労者保健所長表彰を賜りました。気付けば看護師になって四半世紀を超え、訪問看護に携わって10年以上の月日が流れていました。私が訪問看護師として働き始めた頃は、ステーションの看護師も少なく、利用者のニーズに添えない部分もありましたが、現在は多くのスタッフに支えられ、実際のケアだけでなく出前講座を含めた予防看護にも力を注ぐことが出来るようになりました。また昨今の社会情勢の中、在宅での療養を考えるきっかけづくりとして、出前講座は大きな意味を持つと考えています。今後も在宅医療そして訪問看護の存在を知っていただけるよう、地域に貢献できる働きかけを続けていけたらと思います。



## あいの里訪問看護ステーション 井上 うき子

令和4年10月6日表彰状をいただきました。職場の上司、スタッフ、利用者様やご家族、主人や子ども達等、私を28年間支えて下さった方々に深く感謝を申し上げます。当医療法人には病児保育があり、核家族で子育てをしながらも安心して働き続けることが出来ました。28年前、岡山県ナースセンターで紹介していただき感謝しています。就職した年に訪問看護師養成講習会を受講させていただけたことは、4年間子育てでブランクがあった私にとってはとてもありがたいことでした。先輩看護師には仕事のことだけでなく、子育てのこと等もいろいろと教えて頂き、今も恵まれた環境で仕事ができています。介護支援専門員の資格も取得し、約13年間兼務し、視野を広めることも出来ました。管理者としてはまだ未熟ですが今まで経験してきたことを礎にして、今後も地域に貢献したいと思っています。



## 訪問看護の倫理

—— 今こそ倫理課題の検討を！ ——

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

レベルⅠ研修「訪問看護の倫理」担当 石本 傳江

皆様には、新年のお喜びと共に、コロナ感染対応の困難な中でも、訪問看護への強い情熱と献身的なご活動に対して、心から敬意を申し上げます。

看護専門職の倫理には2つの大きな意義があり、1つには個人的存在として、関係する人々との間で善い看護を提供し信頼に応えること、2つには、組織人として社会が求める役割や責任を果たすことです。訪問看護は看護職が開業でき、比較的小規模の事業所が多く、利用者の生活の場に出向く特色を持ちます。これらは、比較的風通しの良い職場風土と組織的なルールに縛られず利用者のニーズに応えやすい利点がありますが、逆に家族や他職種の価値観の相違から多様な倫理的課題を背負うことにもなります。

生活の場で感染の危害を最小に抑える困難や、家族が複雑に係る中で利用者本人の自律や尊厳が守れない場合が生じます。必要な資材も時間も制限された中で最善のケアが出来ないことや、多職種の意見の食い違いが噴出し、訪問拒否や離職に繋がり、最終的に利用者のニーズに応えられない状況等があります。このような心理的安定性が崩れた中では、倫理的感受性が低下すると指摘されています。このような時こそ、訪問看護の倫理を再認識し、課題検討が求められるのではないのでしょうか。

専門職倫理の基本である「倫理の四原則」と「看護職の倫理綱領」を思い出していただきたく思います。これらは理想として飾っておくものではなく、日々の訪問看護に活用し実践するべきものです。混沌とした現状を振り返り、善い看護とは何かを再考し、チームとして共通の価値観をはぐくむツールになると考えます。カンファレンスや事例検討もオンラインの活用で、可能な環境になったかもしれません。折しも、ICNと日本看護協会の「看護職の倫理綱領」が2021年に改訂されより未来志向的な記述になっています。

新たな年を訪問看護の倫理的あり方を再考する年にしていただけると幸いです。



ショウヒタギ

## 開設30周年これから目指す訪問看護

### 倉敷訪問看護サービスセンター

管理者 柚木 加苗子

倉敷訪問看護サービスセンターは平成4年5月に設立しました。平成9年4月には児島訪問看護サービスセンターと玉島訪問看護サービスセンターをそれぞれ設立しました。その後、平成29年、児島・玉島の事業所をそれぞれサテライト化し、倉敷訪問看護サービスセンターとして専門的・効率的・一体的な運営を行うこととなりました。

長い歴史の中、看護師一人ひとりが自分の役割を認識し業務に取り組んできたこと、全員がスキルアップを図ることができるよう努力を重ねたこと、地域で何が必要とされているのか考えながら進化してきたことが評価につながったのだと考えています。コロナ禍の現在では、働き方を工夫し職員同士、助け合いながら様々な問題をみんなで話し合い解決しています。これからも地域の方に必要とされる事業所として力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

### こうなん訪問看護ステーション

管理者 永野 直美

こうなんは平成4年8月に開設し、今年で30年を迎えることが出来ました。現在、看護師とセラピストを合わせ21名が約180名の利用者様を支援しております。機能強化型Ⅰ・看護体制強化加算Ⅰを算定し、より重症な方や看取りも積極的にお受けしております。今後、訪問看護の需要が高まる中、一人一人の利用者様に寄り添い、地域に根付いたサービスを提供すること。また、訪問で「ホッ」と安心して、笑顔のこぼれる時間を過ごしていただきたいと思っています。そのためには、スタッフがスキルアップすること、余裕を持って対応できる懐の深さを持つことが必要と考えており、一人一人が成長できるステーションを目指します。

### 岡山訪問看護ステーション看護協会 管理者 佐山 純子

おかげさまで岡山訪問看護ステーション看護協会は、令和4年12月に設立30周年を迎えることができました。その間、居宅介護支援事業・療養通所介護事業を併設、令和元年にはMyステーション看護協会北長瀬(サテライト事業所)を開設し、看護の視点でのケアマネジメントを行い、利用者の方々が希望する場で生活ができるよう、地域の多職種の皆様と連携を図りながら看護を提供させていただいてまいりました。

また、開設当初から積んできた経験も活かし、実習や研修を受託しながら後進の育成に取り組み、訪問看護サービスの周知・普及に努めてまいりました。

今後も地域の皆様を選んでいただける訪問看護ステーションとなれるように、多職種連携を継続し、機能強化を図り、専門性の高い看護が提供できるように体制を整えていきたいと思っております。今まで通り細やかな気配りと丁寧なケアを心掛け、「安心・信頼・まごころ」をモットーに、「協会の看護師に来てもらってよかった」と言ってもらえるよう研鑽を積んでまいります。



シジュウカラ

### 訪問看護ステーションまいんど

管理者 伊丹 康恵

まいんどは平成4年7月に岡山県下で2番目に開設されました。まいんどには、「こころ・世話をする」等の意味があり、「いつもあなたの事を心にとめています」という精神で、地域に開かれたステーションを目指して活動してきました。

当ステーションが30周年を迎えることができたのは、利用者様をはじめ、今まで共に悩み、励まし、助言や勇気を与えて下さったスタッフや連携させていただく多職種・関係事業所の方々のおかげと心から感謝しております。

現在、医療ニーズの高い利用者や介護力の低下、在宅看取りの増加、感染症対応等、業務も複雑化していく中で、体力・対応力が求められています。今後も看護の質・専門性を高め、地域の皆様の期待に応えられるような身近なステーションでありたいと思っています。

### ハイセイ訪問看護ステーション

管理者 辻川 ゆかり

ハイセイ訪問看護ステーションは、平成4年10月、岡山県では4番目に開設されました。

現在は、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が25名の大規模ステーションに成長し、開設後に生まれた若いスタッフも増えています。

少子高齢化、コロナ禍で、自宅療養をしたいけれど介護力の問題に直面する方が多く、今後も訪問看護のニーズは大きくなると思われます。

地域や他職種との連携を図りながら、「家で暮らしたい」という思いに応えられるステーションでありたいと思っています。

## 介護支援専門員と訪問看護師との多職種交流会に参加して

令和4年11月16日開催

課題検討委員会委員長 松島 稔 (富田訪問看護ステーション)

今回は「地域の中でのBCP」をテーマとした交流会でした。令和6年に期限が打ち出され、BCPを作成中の事業所もあると思いますが、有事にその計画が共通認識の上、職員全員で災害に向きあえてこそその備えになると思います。

しかし、職員個々に認識が違う事は明白であり、今後BCPを事業所でどう意思統一していくかなど、計画が絵に描いた餅にならない為の取り組みを課題に感じました。

情報提供で介護支援専門員協会の小原先生のトリアージのシュミレーション演習やグループワークを通して、実際に優先順位の判断の基準の違いを埋められるような研修会を企画し、意識統一が図れ、関心が持てるよう巻き込みながら働きかけに役立てられるヒントの多い研修であった。

## 寄贈いただきました

### 「見つけた。わたしの看護」(DVD5巻セット)

(4)「どう生きたいか」を支える —訪問看護師だからできること—  
訪問看護ステーション晴 赤瀬佳代様より



### SOMPOケア東古松(岡山C)

管理者 大橋 真理

この度令和4年9月1日より、SOMPOケア東古松訪問看護を開設させて頂きました。

SOMPOケアは「人間尊重=人を大切にすること」を理念とし、高齢化社会における一人ひとりのニーズに対応しております。その理念のもと病気や障害を持たれても、住み慣れたご自宅や地域で安心して暮らして頂けるよう、主治医の指示のもと看護師が訪問しケアやサポートを致します。

お困りの事があればご相談頂き、訪問看護はもちろん、豊富な介護サービスも提供していますので個々に合ったサービスもご紹介できると考えております。管理者はこの理念のもと特定施設で勤務し訪問看護へ異動致しました。看護師へこの思いを伝え一緒にご利用者の想いを大切に、関わらせて頂きたいと思っております。

在宅へも同じ理念にて、利用者様の想いに寄り添い質の高い訪問看護をさせて頂く所存でございます。

新設のステーション紹介

### セントケア訪問看護ステーション岡山南

管理者 田中 伯宜 (岡山A)

令和4年11月1日に岡山市南区に開設させて頂きましたセントケア訪問看護ステーション岡山南です。

- 私たちは「ずっとお家で」をコンセプトに住み慣れた街、住み慣れたお家で、ずっと一緒に暮らして頂ける環境を実現するために、ご本人様だけでなく、生活を共にするご家族にまで、まるごとケアできる介護・看護を目指しています。
- セントケアでは私たちが関わらせて頂く全ての方を「お客様」とさせて頂いております。
- 「看護のことならセントケア」そう思ってもらえるように地域の皆様への感謝を忘れず、お客様に丁寧にケアを提供していきます。



モズ

### アーク訪問看護ステーション中仙道店(岡山C)

管理者 石森 和美

「昨年11月に中仙道に開設いたしました。今まで出会った沢山の利用者様の声や訪問看護を通して出会った先輩方のいい所を取り入れながら、利用者様やご家族の伴走者となれるような訪問看護ステーションを築いていきたいと思っております。

人との出会いには、沢山の「ありがとう」が飛び交います。私は「ありがとう」は魔法の言葉だと思います。

どんな時もスタッフ同士が「ありがとう」と言い合え、スタッフ一同、訪問させて頂けることに「有難い」と常に感謝の気持ちを忘れないように、日々精進してまいりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 訪問看護あるある川柳

作・しんしあ訪問看護リハビリステーション



画・事務局

### 「岡山県看護協会第33回まちの保健室・岡山の看護展」に参加して

広報委員会 副委員長 鶴田 節子 (しんしあ訪問看護リハビリステーション)

地域の人びとが、自分らしく健やかに生きていくための健康づくりを支援し、地域の人びとの健康の保持増進に寄与すること、地域の人びとへのライフサポーターとして、看護職の「看護の心」の普及・啓発を行うことを目的に、令和4年10月30日「第33回 まちの保健室・岡山の看護展」が、岡山県看護協会主催のもと、中之町商店街にて開催されました。

骨密度測定や血管年齢測定などの健康測定コーナーには長蛇の列ができ、地域の人びとの健康に対する関心の高さがうかがえました。私は協力員として、「在宅医療について」の健康相談を担当。独居生活の方の先々に対するご心配、精神疾患を患っておられる方の、通院ができなくなった時のご心配、介護保険制度を利用するには?といったご相談を受けました。私のステーションの地域でも、まちの保健室のように、地域の人びとが気軽に足を運んでくださる場をつくれたらいいなと思えました。

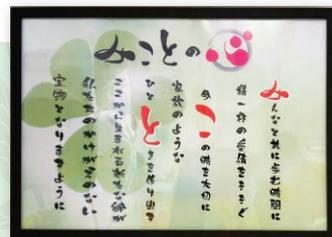
### 新任1年～3年職員相談会・交流会に参加して

訪問看護ステーションみこと 藤井堅司 戸田のぞ美

- 自分よりも少し先輩の訪問看護師の方達と話をさせて頂き、今自分が感じている不安や思いが聞きやすく話やすく良かったと思います。

皆さんも始めたばかりの頃の自分と同じような悩みを持ち、そこから時間が経ち考え方がどのように変化したか等を詳しく聞いて安心しました。

- 講師の佐藤先生より人間関係の基本となるより良いコミュニケーションについて学ばせて頂きました。利用者さんやご家族、スタッフには勿論自分の周りの方にも活用していこうと思います。他の参加者と沢山話ができ同じような悩みや各事業所のやり方の違い等も知ることができて楽しかったです。



### 編集後記

コロナに全世界が遭遇して4年目を迎えました。連日の感染者数をよそ眼に、PPE装着しながらコロナの利用者に訪問を頑張っている皆様、お疲れさまです。皆様の使命感には、頭が下がる思いです。なかなか終息がみえないコロナ。先に何が待っているか、期待半分不安半分ですが、早く日常の生活に戻りたいものです。今回の広報誌第45号も広報委員の思いの詰まった内容で、皆様にほっこりしていただける記事も掲載しています。楽しんでいただけると幸いです。

広報委員一同